

民主党議員の代表・一般質問

- ◆【代表質問】
防災対策、持続可能な地域づくり
産業・雇用対策など
佐波 和則議員（東海市選出）
 - ◆有料道路の民営化、知の拠点の成果
中村すすむ議員（豊田市選出）
 - ◆ネットの活用支援とサイバー犯罪防止
河合 洋介議員（知多郡第1選出）
 - ◆東南アジア等への
海外進出企業に対する支援について
永井 雅彦議員（刈谷市選出）
 - ◆点字図書館・盲人ホーム「明正会館」
の活用
かしわぐま光代議員（豊橋市選出）
- 詳しくは愛知県議会ホームページで
www.pref.aichi.jp/gikai/

災害から県民の生命・財産を守る強靱な県土づくり

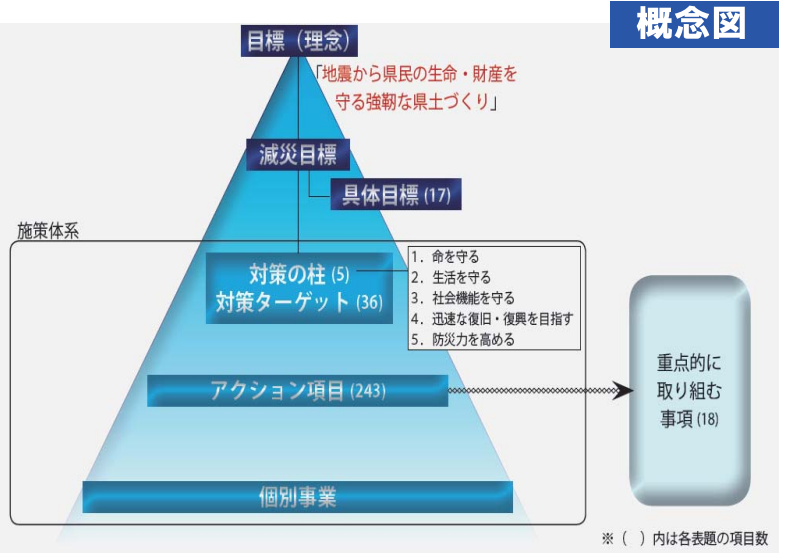
第3次あいち地震対策アクションプランを策定

東日本大震災では、津波による甚大な被害が発生したこと、広域にわたって様々な被害が発生したことなど、これまでの想定を大きく上回る規模の地震となり、また被災者の支援が円滑に進まなかったことなど、これまでの災害対策では十分に対応できない災害が起こりうるということが明らかとなりました。一方で、地元での災害伝承や防災教育の取り組みが被害軽減に活かされた地域もあり、災害の教訓を後

世へ引き継いでいくことの重要性が再認識されました。第3次アクションプランでは、こうした東日本大震災の教訓や南海トラフ地震に係る新たな被害想定や国の対策の考え方を踏まえ、災害から県民の生命・財産を守る強靱な県土づくりを目指して策定がされました。本アクションプランの施策が確実に実行されるよう、議会も確りと取り組んでまいります。

第3次あいち地震対策アクションプランの概要

- 第3次アクションプランのポイント
 - ・東日本大震災を踏まえた本県被害予測調査に基づく地震対策の行動計画
 - ・過去地震最大モデルの想定を対策を進める上での軸としつつ、理論上最大想定モデルの想定についても「命を守る」観点で補足的に参照
 - ・「1. 命を守る」、「2. 生活を守る」、「3. 社会機能を守る」、「4. 迅速な復旧・復興を目指す」、「5. 防災力を高める」の5つの柱を中心とし、新たな施策体系を構築
 - ・計画期間 平成27年度～平成35年度
- 減災目標
 - ・死者数 6,400人→1,200人（約8割減）
 - ・建物の全壊・焼失棟数 94,000棟→47,000棟（約5割減）
- 具体目標（減災目標を達成するための個別目標）
 - ・住宅の耐震化率95%（平成32年度まで）
 - ・家具の固定率65%など
- 重点的に取り組む事項
 - 住宅・建築物の耐震化の促進
 - 河川・海岸保全施設の耐震化等の推進など



南海トラフ巨大地震による愛知県内の被害予測

	愛知県独自による被害予測		国による最大想定
	過去地震最大モデル	理論上最大想定モデル	
死者数	約 6,400 人	約 29,000 人	約 23,000 人
内、建物倒壊	約 2,400 人	約 14,000 人	約 15,000 人
内、津波被害	約 3,900 人	約 13,000 人	約 6,400 人